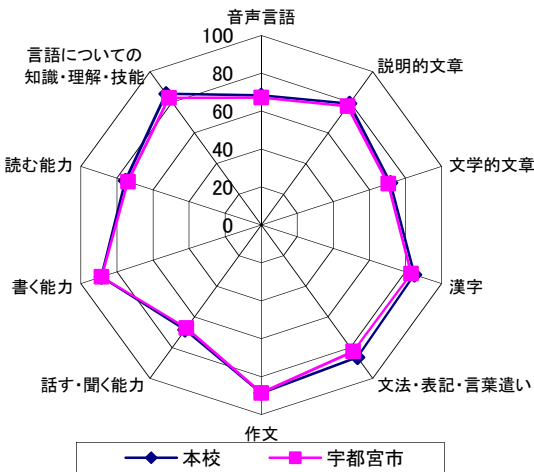


宇都宮市立旭中学校第2学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	68.3	67.2
	説明的文章	79.1	77.5
	文学的文章	71.7	70.4
	漢字	85.0	83.1
	文法・表記・言葉遣い	86.3	82.5
	作文	88.7	88.6
観点別	話す・聞く能力	68.3	67.2
	書く能力	88.7	88.6
	読む能力	75.4	73.9
	言語についての知識・理解・技能	85.5	82.9



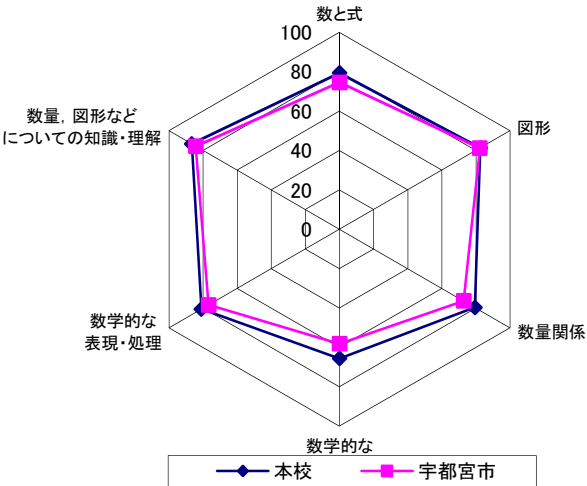
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (68.3%)	・全体としては、市平均より1、1ポイント上回っている。インタビューを深めるため、追加質問を選ぶ問題では市平均を4、0ポイント下回っている。	・授業中に聞き取りテストを行い、メモを取らせることにもっと慣れさせたい。その中で、話し手の意図を聞き取れるように指導していきたい。
説明的文章 (79.1%)	・市平均より、1、6ポイント上回っている。「文章の構成や展開」をみる問題では宇都宮市の平均を1、2ポイント下回っている。また、「文脈に即した内容の理解」では0、2ポイント下回っている。	・説明的文章の授業では、特に構成(何をどんな順序で書いているか)をとらえさせたい。大きな意味段落に分けさせて、意味段落同士のつながりを考えさせながら文章を読み取っていききたい。
文学的文章 (71.7%)	・「文章の主題」を問う問題では、市の平均よりも5、9ポイント下回り、「登場人物の動作の理由」の問題では2、3ポイント下回っている。全体としては1、5パーセント上回っている。	・主題について、もっと意識して読ませたり、説明したりしたい。人物の心情が、「何となくわかる、」のではなく「～と書いてあるのでこう思う。」と根拠を挙げて説明させたい。
漢字 (85.0%)	・「中学1年の漢字の読み」では宇都宮市の平均を1、5ポイント下回っている。全体としては、1、9ポイント上回っている。	・漢字練習や小テストを続けていく中で、新出漢字以外でも間違いの多い読み、書きについては注意をうながしたい。
文法・表記・言葉遣い (86.3%)	・市平均より、4、1ポイント上回っている。「動詞・形容詞・形容動詞」はよくできているが、「類義語」の問題では1、5ポイント下回っている。	・二字の類義語・対義語などについては、一字が共通のもの、などという類型を確認するとともに、教科書以外の言葉も紹介していきたい。
作文 (88.7%)	・「もし、～たら」という副詞の呼応を使った短作文の正答率は、市の平均を3、0ポイント下回った。文章の内容についての意見の記述は、市平均を上回った。	・授業の中で、短作文を書かせる機会を増やしたい。嫌がらずに書くようにさせたい。

宇都宮市立旭中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	79.4	74.6
	図形	82.5	82.2
	数量関係	79.3	72.8
観点別	数学的な見方や考え方	65.6	58.1
	数学的な表現・処理	81.0	76.8
	数量、図形などについての知識・理解	86.6	84.3



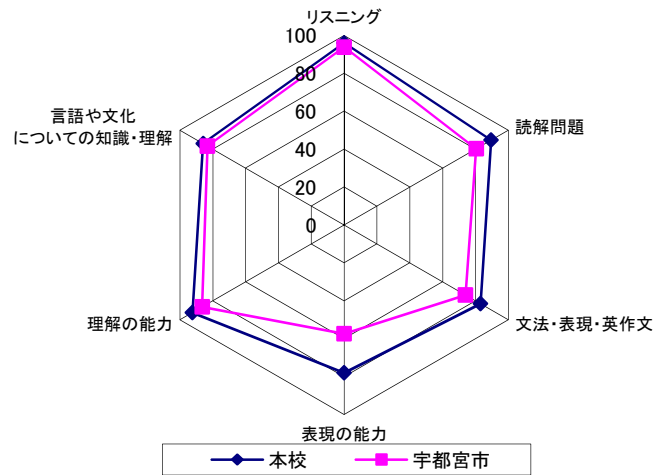
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (79.4%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を4.8ポイント上回っている。しかし、文字式の値、二元一次方程式の解において、正答率が落ち込んでいるので、今後の指導が必要である。	・単元別のプリントを作り、生徒自身に苦手な部分を発見させる手助けをしていく。 ・また、そのプリントから発見された質問に答える時間をとるために、休み時間や昼休み、放課後などを利用し遠慮せずに質問するように声かけをしていく。
図形 (82.5%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を2.0ポイント上回っている。しかし、多角形の内角の和、三角形の合同の証明において、正答率が落ち込んでいるので、今後の指導が必要である。	・合同条件はできているが証明となるとできなくなっているため、証明の書き方や注意点を一つ一つおさえる授業をしていく。 ・また、一部を隠した証明など、取り組みやすい問題から徐々に証明に対する苦手意識を取り除いていく。
数量関係 (79.3%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を5.5ポイント上回っているが、一次関数の利用が半数程度しか理解していないので、今後の指導が必要である。	・これからは、計算ミスが少なくなるように繰り返し復習していくとともに、表、式、グラフが頭の中でつながるような指導をしていく。そのために、ともなって変わる2つの数量関係の規則性を捉え、様々な場合に活用できる応用力を身につけられるように指導していく。

宇都宮市立旭中学校第2学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	96.0	93.8
	読解問題	89.5	80.4
	文法・表現・英作文	83.1	73.9
観点別	表現の能力	78.1	57.4
	理解の能力	92.5	86.5
	言語や文化についての知識・理解	85.9	83.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (96.0%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を2.2ポイント上回っている。	・今後も授業中、生徒ができるだけ生の英語に触れられるよう、英語を多用する。 ・今後もある程度まとまりのある英文を聞いて、内容を理解する練習を普段の授業の中に積極的に取り入れ、答え合わせの際にはスクリプトを提示し、聞き取りにくかった箇所を確かめられるよう配慮する。
読解問題 (89.5%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を9.1ポイント上回ったが、唯一大きく(24.4ポイント)下回った問題はI finished(write/writing/writes)the letter a few days ago. という動名詞の問題であった。これはこのテストの出題範囲であるUnit6の最後に扱われる文法事項であり、学習はしたものの、反復学習が不足しており定着が図られていなかったことを大きく表した。	・教科書を離れた英文を取り上げる時間がほとんどなかったため、4月からは入試を見据えて積極的に取り上げ、長文を読んで理解する練習をさせていきたい。
文法・表現・英作文 (83.1%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を9.2ポイント上回った。特に、英問英答や条件英作文での正答率は市の平均を約20ポイント以上上回る結果となった。これは、昨年度から毎時間行ってきた授業開始後5～6分間の帯学習「Warm Up英会話(ペアでのQ&A練習)」を継続的にやってきたことの成果だと思われる。	・今後は毎時間のペアでのQ&Aが1ターンから2ターン、3ターンになるように指導していきたい。(つなぎことばもインプットし、会話ができるだけ途切れないようにさせたい。) ・今後も書く力を少しでもつけさせる工夫として、センテンステストや語彙力アップのためのインプット活動をこまめに行っていくとともに、4月からは、習った文法を使って自己表現英作文を毎時間させる帯学習を行っていく